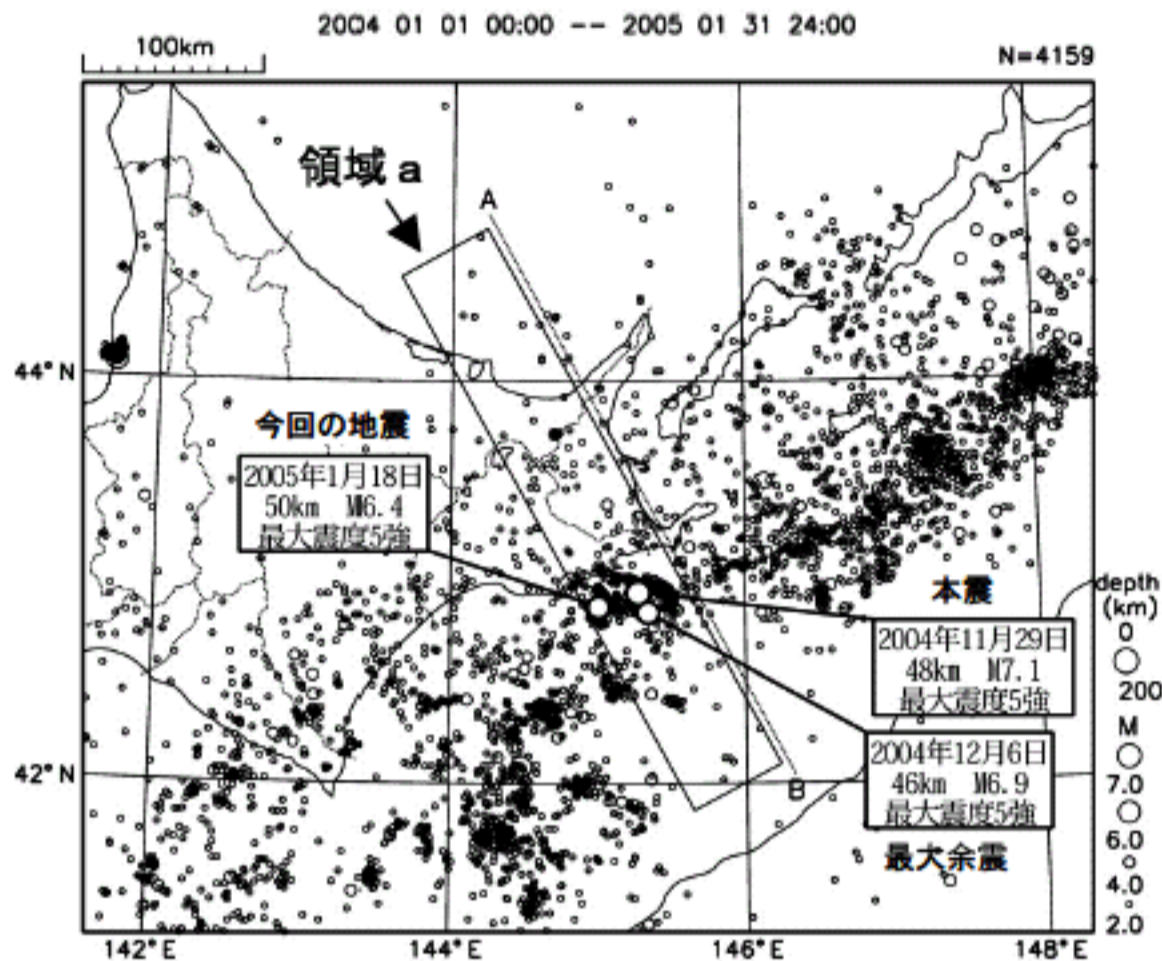


1月18日 釧路沖の地震

(2004年11月29日釧路沖の地震の余震)

震央分布図 (2004年~2005年1月、M \geq 2.0)

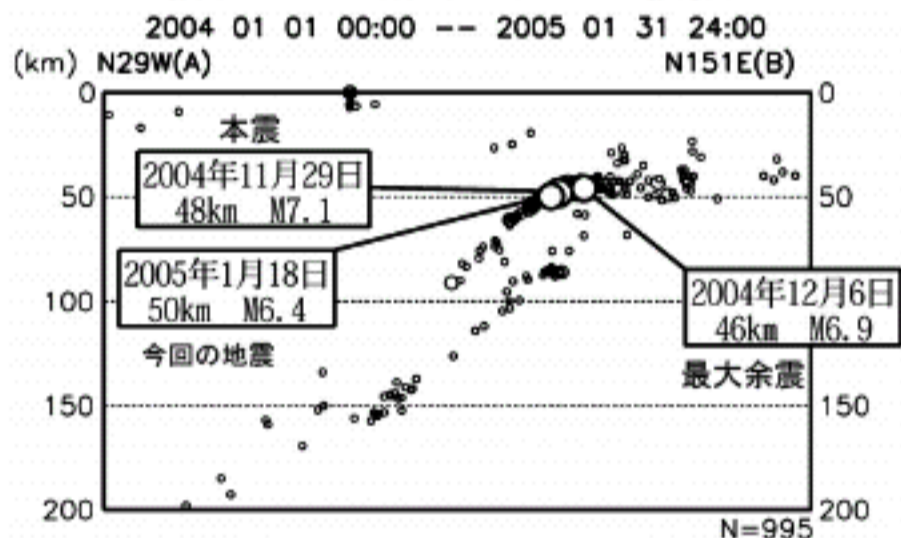


1月18日に釧路沖の深さ50kmでM6.4(最大震度5強)の地震が発生した。この地震により負傷者1名、建物の一部破損等の被害があった(総務省消防庁による)。この地震は2004年11月29日03時32分に発生した釧路沖(M7.1、最大震度5強)の地震の余震である。

発震機構(CMT解)は、本震及び最大余震とほぼ同じ北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

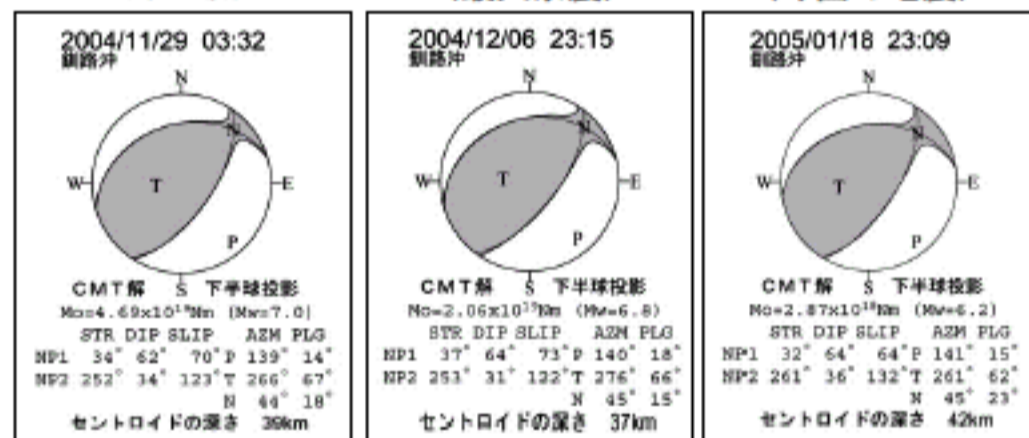
11月29日の本震付近では、ほとんど余震の発生がなく、その周辺域で余震が発生しており、今回の地震は、余震域の西端付近で発生した。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

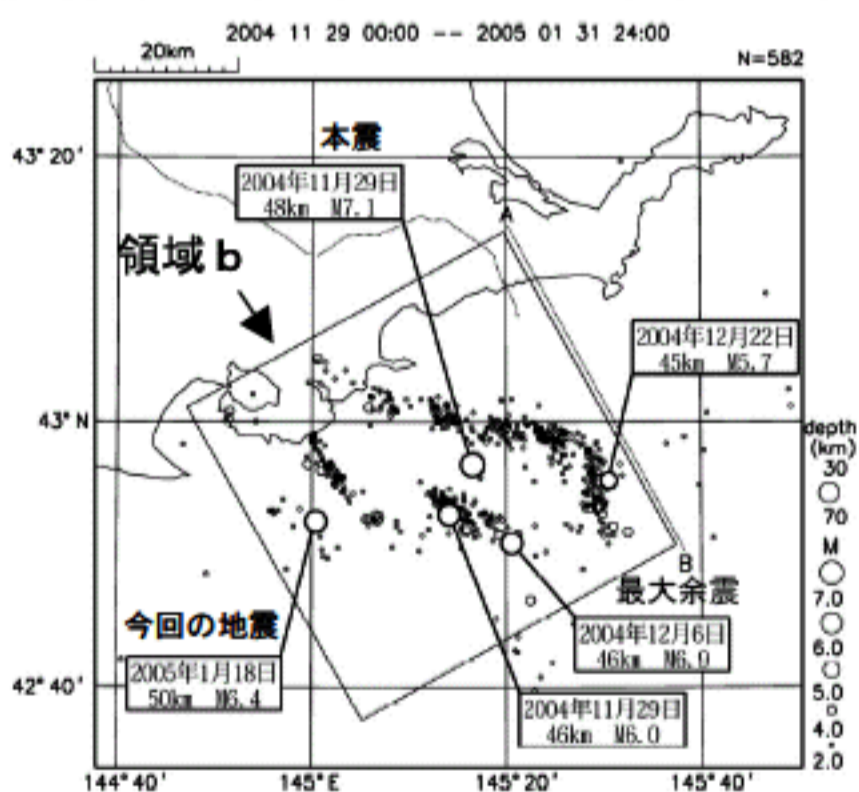


発震機構 (CMT 解)

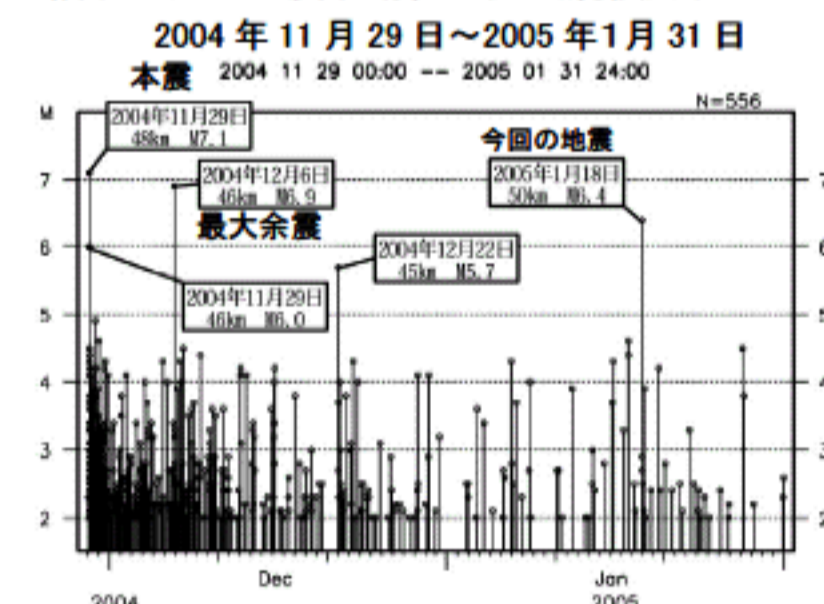
11月29日の地震 (本震) 12月6日の地震 (最大余震) 1月18日の地震 (今回の地震)



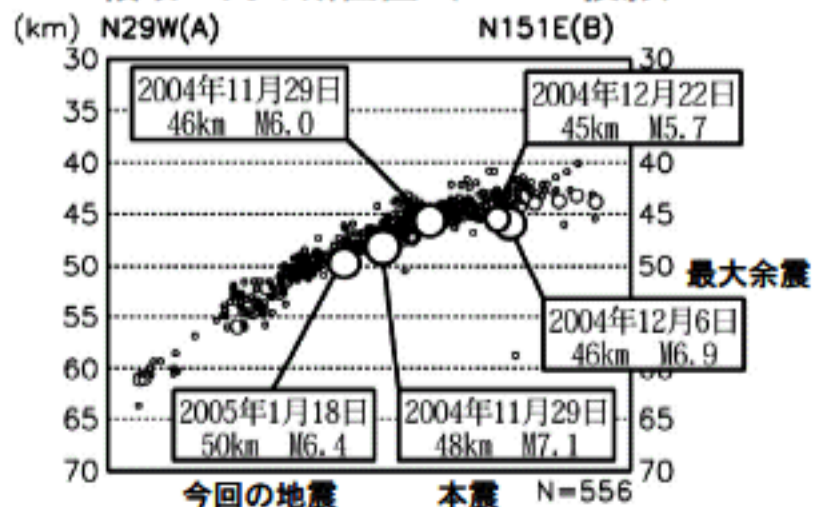
震央分布図 (2004年11月29日~2005年1月31日、M \geq 2.0)



領域 b 内の地震活動経過図 (規模別、M \geq 2.0)



領域 b 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の地震回数積算図

